

ほしの雅春ニュース

発行・星野雅春後援会
所在地・刈谷市高須町
電話・090-3580-9481
編集責任者・星野雅春
毎月30日発行・無料

欠員続く刈谷工科高校・・・どうする？刈谷市！その2

「行きたい」「行かせたい」学校づくりを！



急速に進む少子化は公立高校の定員割れという状況に容赦なく陥れます。愛知県内ではすでに統廃合を含めた再編が進み始めています。刈谷工業高校の、機械、電機、自動車の3科はこの地域の自動車関連企業の技術者、技能者輩出に大きく貢献してきました。IT工学科にも大きな期待が・・・

この地域の基幹産業である自動車産業を支えている刈谷工業高校が前身である刈谷工科高。ここ数年定員割れが続き、将来が心配される状況である事は前号でお知らせしました。来構想」から、県立高校に魅力向上に向けて、刈谷市の役割について質しました。愛知県が公表した出生者数の推移をみると、生々しい数字が並びます。2022年度の高校入学年度の人口は69948人です。13年後の2035年度は56908人に減少します。13000人の減少です。現在の公立私立の割合で見ると、約8000人の減少で、40人クラスで200学級の減少でなんと高校25校分にあたりません。愛知県下220ほどある県立高校の1割を超える高校が消滅します。2035年度の入学者の減少率が25、7%の

さらにコロナ禍人口減少が著しく進む可能性がります。星野は刈谷工業高校の成り立ちや、モノづくりを標榜する刈谷市の象徴的な学び舎として、統廃合にならないように、刈谷市、地域、企業、社会教育関係者などの協議会を設置し、知恵を出し合うことが必要と意見しました。刈谷市の「やる気」が問われます。



知恵を出し合おう！

その原因は少子化と私立高校の授業料無償化による公立離れにあります。星野は6月議会において愛知県が発表した「県立高校再編将



ほしの雅春市議

035年度の入学者の減少率が25、7%の

まじめにまっすぐ！

情熱系

まじ・すぐ市議 ほしの雅春 MASAHARU

プロフィール
昭和28年8月13日生 69才
●刈谷市立依佐美中学校卒業
●愛知県立刈谷工業高等学校卒業
●刈谷市小堀江青年団長
●愛知県青年団協議会長(3年)
●日本青年団協議会長(2年)
●前(財)愛知県青年会館 常務理事

まさ はる

ほしの雅春

今は困っていない、でも未来はわからない！だから、投票へ行こう！

投票に行こう

「ほしの雅春ニュース」を手渡しすることで、「実は・・・聞いてくれる？」と深刻な生活の告白受けたら、「何とかしてよ！」などの要望も頂く。「手配り」は市民と星野を繋ぐ大切な「習慣」となった。支援していない議員のチラシはゴミかもしれない、だがそれぞれ大きな理想掲げ選挙に立つ。投票へ行ってみよう、切なる願いだ！

「議会改革」を通して「議会品質」を高める・・・ほしの雅春

青雲の声

月刊紙「ほしの雅春ニュース」を発行し292号になった。季刊紙「星野雅春後援会だより」を含めると300号を超える。本紙は中学生でも理解できる紙面づくりに努めてきた。だが、時折「難しい政治用語が理解不能」と指摘を受ける。当初は800枚程度だったが今は3000を超す。ネットの時代になんとアナログか、とも思われるかも。だが「ほしの雅春ニュース」を

星野は常に市民の生活課題を政策課題として、提案しています。(市議会だよりから)

質問質疑 市政のこころを問う

この定例会では3月1日・2日・3日の3日間、18人が登壇し、42項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問の動機・・・令和5年2月をもって南部地区のスーパー2店が閉店となりました。ご近所の高齢者から、「買い物、どうしよう!」「段ボールなどのリサイクル、どうしよう!」などの声を聞きました。3月議会より

星野 雅春 議員 (主な答弁者・・・産業環境部長)
生活に必要なスーパー等の施設撤退に対し、市としての対応を!!
スーパーが撤退した地域の状況を注視していく

問 南部地区で2件のスーパーが閉店した。スーパーの撤退は買物難民や従業員の失業の問題など、単に民間の事業者が撤退したというレベルではないと考えるが、市はどのように受け止めているか。

答 生活に必要な生鮮食料品等を扱うスーパーの撤退は、近隣住民、特に高齢者等への影響が大きく、懸念している。

問 刈谷駅前再開発には多くの補助金を出している。スーパーやドラッグストアのような生活に必要な施設についても、市で支援することはできないか。

答 スーパー等に対する誘致支援については、現時点では特定の業種に対する存続や誘致の支援を実施する予定はないが、スーパーが撤退した地域の状況を注視していく。



刈谷市議会には政党、企業代表が多数を占め、明らかに多様性が欠如しています。多面的な発想を持つ議員が必要です。

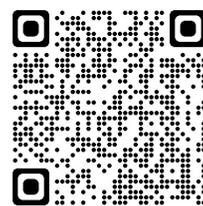
25年以上続けている趣味でもあるニュースポーツのユニバーサルホッケー。小学校での体育授業で講師をすることもあります。健康づくりと仲間づくりに励んでいます。↓



地域青年団、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体を支援する公益的法人「一般財団法人愛知県青年会館・常務理事」として、県下の青年団、青少年団体への支援活動を続けてきました。研修風景↓



パトロール隊の一隊員として見守りに参加。会話しながらのパト活動。貴重な情報源です。



(財)愛知県青年会館 QRコード、こちらからどうぞ

